

日野団地地区 地域緑化計画書

計画名：みどりと花の「四季のかがやきガーデン」

推進団体名：日野団地自治会 ガーデン愛護会



この地域緑化計画書は、公開します。

地区の範囲図



計画期間	平成29年度 ～ 平成31年度
課題及び背景	・日野団地は750世帯を抱えている団地ですが、団地内では、防災訓練や夏祭りを実施するための公園が1箇所あるのみで、花やみどりを鑑賞したり、地域住民が集い楽しめる憩いの場所がありません。 ・住民の高齢化が進み、全体の65%を超えました。1人暮らしの方も200名にのぼり、住民全体が生活に潤いを求めているところ、団地内に大きな空き地がありこれを活用して憩いの場として外に出る楽しみを感じ、お互いの交流を深めることが可能であると考えました。 ・以前から団地内住民からも空き地の活用について課題となっており、花とみどりの多い場所にしたいとの声も上がっていました。
計画の概要	【方向性・目標】 ・本事業によって「みどりと花のある豊かな日野団地」をめざし、安心、安全な環境を整え地域住民が交流できるようにいたします。 【四季のかがやきガーデンの創設】 ・団地入り口の日野保育園から港南台方面へ抜ける団地のメイン通り沿いの集会所の斜め向かいで団地住民が集まりやすい環境の場所に「四季のかがやきガーデン」を創設します。 ・ガーデン内には、日野団地のシンボルマークを象った花壇を配置します。 【メイン通りの緑化】 ・ガーデンに導く桜並木のメイン通りには集会所も立地しており、県花のユリや港南区の花、ひまわり等を植栽し地域らしさを演出します。 【周知活動・担い手発掘】 ・緑化整備及び維持管理を行う上では、広報紙やタウンニュース等による周知活動を充実するとともに、初歩から専門的なノウハウまでが学べる講習会・研修会などを開催し、担い手発掘に力を入れます。
課題解決及び効果	【課題解決】 ・本事業により、近隣住民の交流、憩いの場が創設され、住民より以前から声があがっていた空き地の活用といった課題について解決できます。 【地域への効果】 ・本事業により、独居者を含めた地域住民や保育園の園児達が訪れ、みどりに触れることや研修会の開催、イベントに参加することで交流を深めることができ、ひいては団地住民の孤立防止に役立っています。 ・これまでも個人的に住棟周りを利用して花壇や小さな畑を作っている方が多く、本事業に協力してガーデンを作ることで、一層コミュニティを醸成していきます。 ・団地内を散歩している方が多いため、空地やメイン道路の緑化で景観も良くなり、楽しみながら散歩できる環境形成効果があります。 ・閑散としていた空き地やメインストリートの緑化・ガーデン化を通して、近隣住民も多く訪れることが予想され、地域活性化や防犯に強いまちづくりをしていきます。

計画年次	計 画 内 容
1年度目 (平成 29 年度)	< 1 年度目 (29 年度) > 【基盤整備、基礎的な備品購入】 ○民有地緑化 ・「四季のかがやきガーデン」実施場所の基盤整備 等。 ・植栽工：植栽する樹木、花苗の購入。 ・設備工：雨水タンクの購入、設置。 ・フレーム工：ゲート、シンボルフレーム購入。 ○地域緑化活動 ・備品：倉庫、スコップ等の備品購入。 ・周辺地域へ活動を周知するための広報活動。(広報紙の発行 1 回)
2年度目 (平成 30 年度)	< 2 年度目 (30 年度) > 【かがやきガーデンの緑化整備】 ○民有地緑化 ・「四季のかがやきガーデン」緑化整備 等。 ・舗装工：ガーデン内動線の創設。 ・植栽柵工：植栽場所の創設。 ・苗圃土留め工：苗育成場所の創設。 ・花壇縁石工：花壇場所の創設。 ○地域緑化活動 ・入口ゲートの看板製作。 ・周辺地域へ活動を周知するための広報活動。(広報紙の発行 6 回) ・専門家を招聘しての研修会 (年 2 回)
3年度目 (平成 31 年度)	< 3 年度目 (31 年度) > 【メイン道路の緑化整備、補助期間後の自立化検討】 ○民有地緑化 ・植栽工：四季折々の樹木の植栽、花壇への植栽 等。 ・メイン道路への植栽。 ○地域緑化活動 ・周辺地域へ活動を周知するための広報活動。(広報紙の発行 6 回) ・専門家を招聘しての研修会 (年 2 回) ・地域タウン誌や媒体を活用した周知活動。 ・他団体との交流会の実施。
資金計画	・緑化整備での整備費の自己負担は、原則、日野団地共益費から負担する。 ・計画期間終了後の活動資金は、共益費 (月/250 円×約 700 戸=2, 100, 000 円) から捻出していく。 ・なるべく活動資金がかからないようにしていくために、花や樹木の植栽、剪定は地域内ボランティアで実施していく。 ・ボランティアは、団地内で組織づくりをして負担のかからないように配慮する。 ・自前での苗生産及び販売などを視野に、自立的な仕組み作りを検討する

計画期間中の活動について	【緑化へのスキルアップと地域住民の人材発掘】 ・定期的に専門家を招聘して、緑化についての講習会や研修会を近隣住民向けに実施していきます。 ・近隣にある、保育園と連携して植栽の体験会の開催を実施して「食育」ならぬ「植育」を実施していきます。また、園児の父兄へも参加を促し緑化に協力できる人材（写真やチラシ作成等）を発掘していきます。 【周知・広報活動】 ・助成金を活用してタウン誌や他媒体への掲載を実施し、近隣の小中学校にチラシの配布、ポスターの掲出をお願いして周知認知活動を実施します。
計画期間終了後の活動について	【知識の活用と実践】 ・計画期間終了後も専門家にレクチャーを受けた知識を活用して、ガーデン愛護会内でワークショップを開催し、緑化をしていきます。 【情報共有と交流】 ・地域緑のまちづくり事業を実施した団体との交流を広げていき、本事業での仲間を増やし港南区以外の他の区にも広げていきます。 【資金計画の仕組み作りの実践】 ・共益費の一部（大規模草刈り）を利用したり、保育園や子供会、学童等と協力したイベントを開催して、活動資金を得て継続活動ができるようにいたします。 ・緑化を通して生産、育成したものを商品化、販売することなど、新たな財源づくりにチャレンジします。
組織づくり	・日野団地は、毎週日曜日の朝に集会所や公園の清掃活動を自治会として行っており、その自治会内に「保健衛生部」やボランティア数名が集会所周辺の花壇管理を行っています。その方々を中心に新たな運営組織を作ります。また、近隣の戸建ての住民にもお声がけし、活動の理解と参加を促していきます。近隣の保育園にも相談して父兄の参加を促すとともに、園児たちの活動の一助とします。 ・上記により、新たな担い手も掘り起こしながら、事務作業等も含め幅広い役割分担を明確にして、特定の方に負担が偏らないよう工夫し、楽しく作業ができる活動上の工夫を講じ持続可能な組織づくりをいたします。
創意工夫	【地域性を活かした工夫】（お茶生産は自給自足） ・お茶の木で日野団地のロゴを象った花壇を創設しますが、その茶葉を使って製茶につなげ、まずは、団地内会議用として試飲していき、いずれは商品化して販売するなどで、活動資金に充てていきます。 ・生産したお茶に「日野団茶」（ひのだんちゃ）と命名し、洋光台にある老舗お茶屋さんに販売の協力をしてもらうことも視野に入れます。 【住民との協働】 ・個人的に花壇や畑を作っている方（植栽の腕自慢）にマイ花壇を提供することで、それぞれ独自の植栽をしてもらい、個性的で幅広い緑化を楽しむ方々を増やす仕組み作りをします。

緑化計画図



春 サクラ



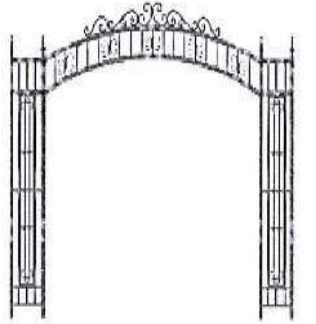
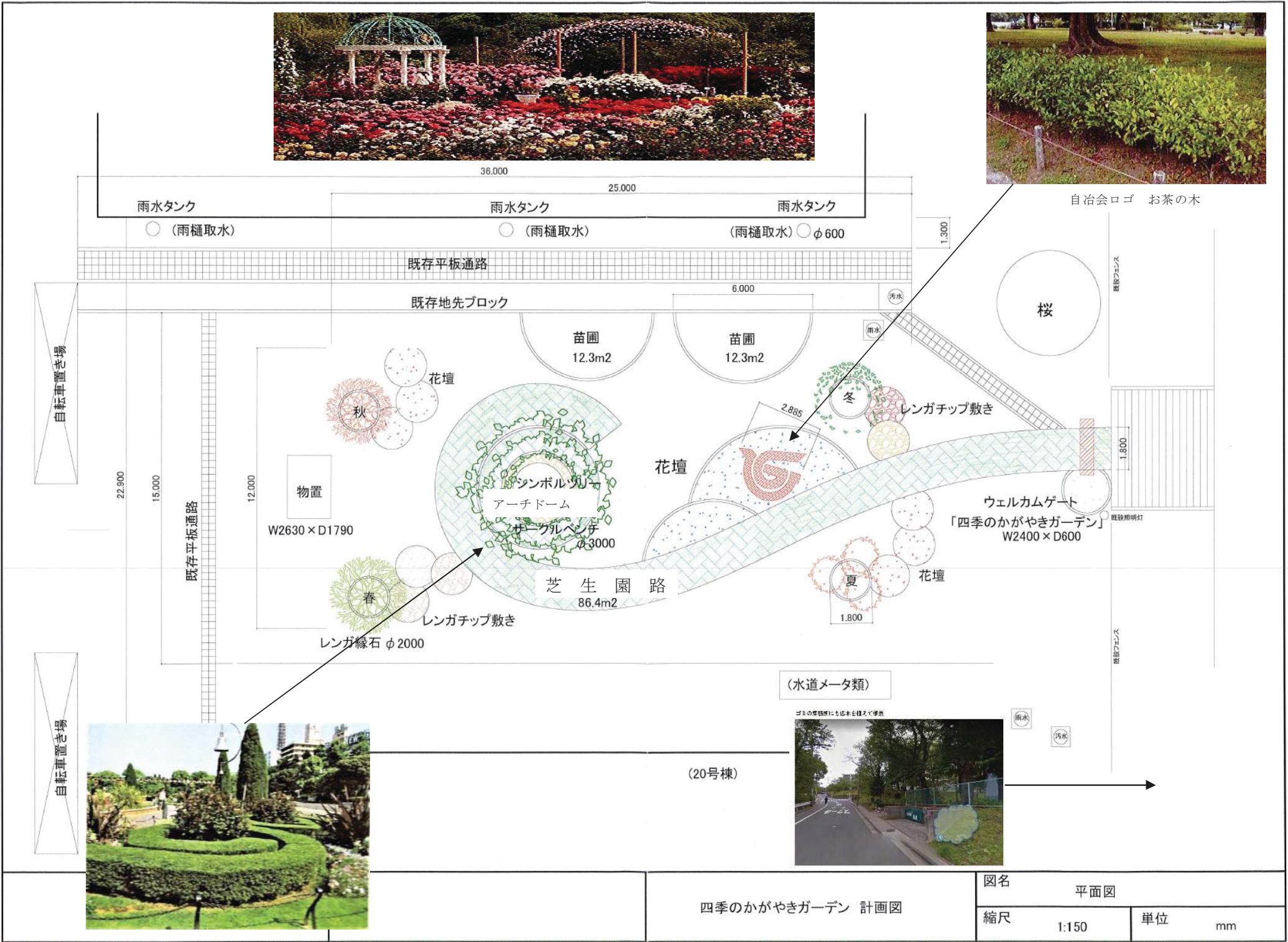
夏 ヒメシャラ



秋 モクセイ



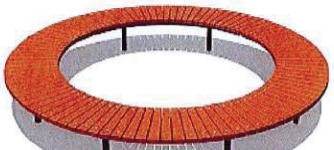
冬 モミの木



ウェルカムゲート



アーチドーム パーゴラ



サークルベンチ



雨水タンク

概算事業費（単位：千円）（注1, 5）

助成項目	細目	1年度目（平成29年度）	2年度目（平成30年度）	3年度目（平成31年度）	項目ごとの合計		※【参考】 助成率・助成金額の上限	
1 民有地緑化	①設計等経費	500	500	500	1, 500		100％以内	
		(主な内容) ・「四季のかがやき公園」の実施設計 等	(主な内容) ・「四季のかがやき公園」の実施設計 等	(主な内容) ・「四季のかがやき公園」、メイン通り沿いの実施設計 等				
	②緑化整備等経費 (注2)	3, 500	3, 500	3, 500	10, 500		90％以内	
		(主な内容) ・「四季のかがやき公園」の緑化整備 等	(主な内容) ・「四季のかがやき公園」の緑化整備 等	(主な内容) ・「四季のかがやき公園」の緑化整備 等 ・メイン通り沿い緑化整備 等				
	合計額 (注9)	概算事業費 4, 000	概算事業費 4, 000	概算事業費 4, 000	12, 000			
(助成見込額) (3, 650)		(助成見込額) (3, 650)	(助成見込額) (3, 650)	(10, 950)				
2 景観木保全	①調査費				0		100％以内 100％以内 (上限20千円/本)	
	②診断書作成費				0			
	③治療費				0		③と④は各景観 木1本につき、 合計50千円以内	100％以内 (上限50千円/ 本)
	④環境整備費				0			100％以内 (上限50千円/ 本)
	合計額 (注9)	概算事業費	概算事業費	概算事業費	0			
(助成見込額)		(助成見込額)	(助成見込額)	0				
3 地域緑化活動 (注3)	①維持・管理費	370	160	130	660		①～④の合計 1, 000千円以内 ／年度	100％以内
	②広報・研修費	600	810	840	2, 250			100％以内
	③事務費	10	10	10	30			100％以内 (上限100千円/ 年度)
	④諸雑費	20	20	20	60			100％以内 (上限40千円/ 年度)
	合計額 (注9)	概算事業費 1, 000	概算事業費 1, 000	概算事業費 1, 000	3, 000			
(助成見込額) (1, 000)		(助成見込額) (1, 000)	(助成見込額) (1, 000)	(3, 000)				
年度ごとの合計 (注4, 6, 7, 8)		概算事業費 5, 000	概算事業費 5, 000	概算事業費 5, 000	総合計	15, 000	1～3年度の合計5, 000千円以内／ 年度	
		(助成見込額) (4, 650)	(助成見込額) (4, 650)	(助成見込額) (4, 650)		(13, 950)		

(記入時の注意事項)

- 注1：各細目には、提案計画の助成金と自己負担金を含めた概算事業費（予定金額）を記入してください。計画がない項目や細目は、0（ゼロ）を記入してください。
- 注2：民有地緑化の緑化整備等経費には、最低10%の自己負担金が必要となります。（助成金申請時に、自己負担金が用意できることが助成金交付の要件となります。）
- 注3：地域緑化活動の助成項目では、1年度につき1, 000千円が助成金額の上限となります。
- 注4：民有地緑化、景観木保全、地域緑化活動の助成金の合計は1年度につき5, 000千円が助成金額の上限となります。（3年度総合計の助成金額の上限は、15, 000千円です。）
- 注5：千円単位で記入してください。（なお助成金額は、千円未満切り捨てとなり、端数は自己負担金となります。）
- 注6：本概算事業費の年度ごとの合計金額を上回る助成金の申請はできません。
- 注7：年度ごとの概算事業費を作成することとし、年度間での助成金のやりとりはできません。（年度ごとに助成事業を完了させる必要があります。）
- 注8：上限内での年度ごとの項目内における、細目間での事業計画の見直しは、可能です。（29年度の地域緑化活動における維持管理費を増やし、その分の広報研修費を減らすなど）
- 注9：各項目内における細目の合計欄には、概算事業費（予定金額）と、助成見込額の合計を記入してください。なお、助成見込額には、（）を付けてください。